自治連だより

第37号
平成29年9月8日
発行：伊丹市自治会連合会
編集：広報委員会

今年度の活動方針について

伊丹市自治会連合会
会長　榎木光夫
(天神川ブロック・鶴田自治会長)

　自治会長はじめ役員の皆様、自治会員の皆様には、平素から地域活動にご理解・ご協力いただいておりますことに感謝申し上げます。
　さて、先般5月26日の定期総会におきまして、平成29年度の予算案、事業計画案等をご承認いただき、新年度のスタートを切りました。現在、自治会は自治会離れによる加入率の減少や、役員の担い手不足による自治会の解散等の諸問題に直面しています。
　当連合会では、これらを解消するために、現在、伊丹小学校区と笹原小学校区で進めている地域自治組織の取り組みを進めることや、自治会加入促進に向け、先進市視察や他市町の取り組み事例等を、伊丹市と連携しながら研究を深め、取り組んで参ります。
　最後になりますが、当連合会、各自治会の更なる発展のため、引き続き、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

5月26日に開催された
平成29年度定期総会

新任自治会長研修会＆自治会長交流グラウンドゴルフ大会開催報告

写真左【新任自治会長研修会】
写真右【自治会長交流グラウンドゴルフ大会】

　去る5月17日、新任自治会長研修会を開催しました。この研修会は、地域や行政の組織、自治会長が知っておくと役立つ情報等について学ぶ場として、新たに自治会長になられた方を対象に、平成27年度より開催しています。参加者の皆様からは、「参考になり、参加してよかった」等の声が聞かれました。来年度以降も内容を見直しながら、より良い研修となるように努めていきます。
　また、6月3日には伊丹小学校校庭にて、自治会長交流グラウンドゴルフ大会を開催しました。ホールインワンも多数飛び出し、大いに盛り上がり、楽しい交流の場となりました。

今年度の自治連だよりは、**「“自治会＆地域活動”をもっと身近に！」**をコンセプトに、各地域の特色ある取り組みをインタビュー形式で紹介します。
今回は、**「世代間交流の取り組み」**（みどりOTON-A会、緑丘小学校地区社会福祉協議会“お助けの会”）と**「ハロウィン祭り」**（第一美鈴自治会）をご紹介します。
各代表者等にお話をお伺いしました。2～3ページに記載しておりますので是非ご覧下さい。

「世代間交流の取り組み」

緑丘ブロック
みどりOTON-A（おとな）会
緑丘小学校地区社会福祉協議会“お助けの会”

【みどりOTON-A会とは？】
平成28年より緑丘小の保護者有志で立ち上げられた団体。**『子どもたちのために「できるときに」、「できることを」、「できるひとがする」』**をコンセプトに子どもの思い出作りを手伝いつつ、大人も子どもと一緒に楽しむ目的で活動している。緑丘小地区社協や自治会、小学校やPTA等の協力を得ながら活動中。

【緑丘小学校地区社会福祉協議会“お助けの会”とは？】
福祉ネット会議が名称変更し、現在の“お助けの会”となる。**みどりOTON-A会と連携しながら、世代間交流につながる新たな事業等を計画している。**

みどりOTON-A会のイベントで自治会主催の事業も活発に

－みどりOTON-A会（以下、O会）ではどんなことを－

井：基本的には、イベントに合わせた打ち合わせ（兼懇親会）をしながら、その中で出たアイデアをどう具体的に実現していくか話をしてますね。地域組織やPTA等の事を知らないメンバーも多いので、年度当初は勉強会をやって、理解してもらっています。この1年では、緑丘小学校の校庭で行ったみどり花火ナイトやみどりわくわくカーニバル、昔遊びやもちつきを行う、新春ふれあい広場等の緑丘小地区社協の事業への参加等がありました。

インタビューにご協力いただいた
みどりOTON-A会 代表
井村正明さん（緑丘小PTA会長）（写真左）
緑丘小学校地区社会福祉協議会 会長
九鬼正之さん（大鹿自治会長）（写真右）

－校庭で花火をするって、大変じゃなかったですか－

井：最初はO会の中で、子どもと花火できるところがないよねって言う話が発端でした。ただ、校庭の使用許可を得るのは苦労しました。安全管理や周辺住民への周知等、色々と対策し、結果、許可をいただき開催することができました。幸い、苦情もなく、逆に周辺住民の方々が花火を見に来られて良かったなぁと。北園地区におられる民踊同好会の方にもご協力いただき、子どもたちへの盆踊り教室も合わせて実施しました。

九：盆踊り教室も合わせて実施したおかげで、自治会の夏祭りにも、普段より子どもや保護者の参加が多く、影響力の大きさを感じました。上手く相乗効果が出ている気がします。

子育て世代の行動力やアイデアを地域の方々の経験や知恵でフォロー

みどりOTON-A会の活動をFacebookで確認できます。是非、ご覧下さい。

－今後の新しい取り組みについて、教えて下さい－

井：地域の方より使用していない畑（梅林の跡地）があるとの申し出があり、耕してサツマイモを植えよう！ということになりました。一から畑を作る経験はありませんでしたが、緑丘小地区社協や自治会等の地域のみなさんにも快く協力いただき、子どもたちや保護者と一緒になって、畝（うね）作り、苗植え（左上写真）を行いました。地域のみなさんが非常に協力的で感謝しています。みんなで芋堀りイベントを行い、余ったお芋はみどりわくわくカーニバルでも販売できればと考えています。

九：地域のベテランの方々は経験や知恵はあるが、なかなか良い発想が出てこないことがあります。そこをO会の皆さんが色々と考えてくれるので、上手くフォローしながら、良い協力関係ができていると思います。緑丘小地区社協“お助けの会”でも、仮ですが「みどり農園」と名付けて、次は何を植えようかと、楽しそうに話してますよ（笑）一緒になって地域を盛り上げていければと思います。

「ハロウィン祭り」

(鈴原ブロック・第一美鈴自治会)

【第一美鈴自治会】
○自治会加入世帯数：164世帯
（平成29年4月1日現在）
○会長：池本 光正さん

インタビューにご協力いただいた
池本会長

ハロウィンのきっかけは数家族の集まりから

－ハロウィン祭りではどんなことをやっているんですか－

仮装した子どもたちが班に分かれて、カボチャのランタンのある家々を巡り、玄関先で「トリック・オア・トリート！（お菓子をくれないといたずらしちゃうぞ）」と叫んでお菓子をもらうというやつです。

－やり始めたきっかけはなんですか－

はじめは自治会内の数家族が集まってハロウィンパーティーをしていると聞きつけて、自治会でもやろうと。自治会内では新しい住民や子どもも増えてきていて、従来の活動だけだと、参加しにくいのではと感じていました。それに近所づきあいが希薄になっていく中で、この取り組みを通して子どもの顔がわかるようになるし、子どもたちも将来、「昔こんなことやったなぁ」って思い出して、自分が育った地域に愛着を持ってもらえたら嬉しいなぁと思って。

苦労も多かったが、みんなが楽しめるイベントに

－実際やるにあたっては、結構苦労したんじゃないですか－

昨年はじめてやったので、手探りでしたね。まず、お菓子を配ってくれる世帯の協力を呼びかけたのですが、なかなか集まりません。高齢者の世帯は、ハロウィンに馴染みがないから、「何するん？」って感じで（笑）「子どもにお菓子配るだけです」って説明してまわって、最終、8世帯に協力してもらうことができました。お菓子を配布してもらう世帯には、玄関にカボチャのランタン（右写真）を設置してもらったのですが、「どこ置こかなぁ」って迷いながらも楽しんでくれている様子でした。参加者にも、来年またやりたいかを聞いたんですが、「やりたい！」ってすぐに手が挙がりました。何より自分自身もすごく楽しめましたね（笑）

ランタン等の必要物品はコストを抑えるためほとんど100均で調達
その分、お菓子は少し豪華に！

みんなが楽しく暮らせるように、自治会が助けになれば

－今後、考えていることとかはありますか－

今年でまだ2回目なので、とりあえずこの取り組みが定着するように頑張りたいですね。私自身、くじ引きで自治会長になったんですけど、どうせやるなら嫌々ではなく、できることをやろうと。会長は責任や負担感もありますが、みんなが楽しく暮らせるように、自治会がその一助になればと思っています。

三役・各委員会よりメッセージ

【副会長】市川伊久雄
（総務委員長）
（鈴原ブロック・西御願塚自治会長）

総務委員会では、自治会長の皆様が、各自治会での活動を進めるのに必要な情報提供や情報交換の場を提供すると共に、親睦を深めるための交流事業等を行っています。少しでも自治会長の皆様や各自治会のお役に立てるよう努めていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願い致します。

今年度も以下の研修事業を予定しています。
是非、積極的なご参加をお願いします。
※自治会研修会の詳細は確定後、自治会長の皆様にご案内します

○管外研修会（先進市視察）※1泊2日
平成29年9月28日(木)・29日(金)　@福井県鯖江市他
○自治会研修会（講演等）
平成29年11月18日(土)@スワンホール

【副会長】矢野天正
（環境委員長）
（昆陽里ブロック・日生住宅自治会長）

資源ごみのリサイクルに取り組んでいただいた結果、ゴミの資源化・減量化が進んでいます。今年度は「私たちが出来る身近な環境活動」として、前期は食品ロス、後期はグリーンカーテンや雨水貯留タンク、コンポストについて研究し、皆様に情報提供を行って参ります。

【副会長】長澤孝
（広報委員長）
（池尻ブロック・西野西自治会長）

自治連だよりが、より多くの方々に興味を持って読んでいただけるよう、今年度より紙面を見直しましたがいかがでしょうか？今後も各地域の特色ある取り組みを紹介していきますので、情報提供をよろしくお願い致します。

【副会長】宮内正次
（生活安全委員長）
（笹原ブロック・笹北自治会長）

今年度の事業方針として、「市民が安心して暮らせるまちづくりに努める」を基本に、市民の安全に関する意識の高揚及び地域における連帯意識を高め、子どもの安全をはじめとする生活安全活動を積極的に推進していきます。

【副会長】伴博夫
（福祉委員長）
（有岡ブロック・湊町自治会長）

この度、副会長を仰せつかりました伴です。これまで稗田副会長が福祉委員長として取り組まれていた「地域ふれ愛福祉サロンを通じた高齢者の見守り活動の充実」について、微力ながら取り組んで参りますので、よろしくお願い致します。

伴副会長は、8月21日に行われた選考委員会で三役（副会長）に選出され、同日理事会で承認されました。

【事務局長】岩田武司
（稲野ブロック・千僧自治会長）

住民のつながりの希薄化、地域活動の情報共有不足等の理由で自治会等の地域組織への加入率が低下している地域も多いかと思います。そういった課題に対するひとつの取り組みとして、地域自治組織について当連合会でも研究を進めておりますので、皆様のご協力を賜ることができれば幸いです。

【会計】青木宗生
（花里ブロック・昆陽池西アーバンコンフォート自治会長）

皆様の自治会運営が円滑に推進されるよう、会計として頑張って参ります。また、総務委員会委員としても、各研修会等に多くの自治会長の皆様に参加いただけるように興味深い企画を提案いたしますので、積極的なご参加をお願い致します。

【訃報】当連合会の稗田康雄副会長（摂陽ブロック代表理事・昆陽宮田自治会長）が平成29年6月21日にお亡くなりになりました。謹んでお悔やみ申し上げます。

伊丹北高の生徒2名が自主体験学習で地域活動に参加しました。

8月17日、18日、23日の3日間、県立伊丹北高等学校1年生の梶田彩寧さんと星野秀幸さんの2名を、自主体験学習で市まちづくり推進課が受入れを行い、学習の一環で地域活動に参加しました。

17日は、鶴田自治会の夏祭りの設営準備や自治会名物のおでんの調理を手伝いました。

18日には、若菱柏木センターで開催されているふれ愛福祉サロン「コスモス給食」に参加し、参加者の皆様とふれあいながら、昼食やゲーム等を楽しみました。

【写真下】
コスモス給食で参加者のみなさんとゲーム

【写真上】
おでんの下準備をお手伝い